

令和5年11月27日

独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社 淀川本部
関西電力株式会社

高山ダムにおける水位運用高度化による発電電力の増加について ～約529戸の家庭が1ヵ月に消費する電力量を増電～

独立行政法人水資源機構と関西電力株式会社は、令和5年8月から、水資源機構が管理する高山ダムにおいて、水位運用高度化^{※1}（既存ダムを活用した増電の試行）に取り組んでいます。

令和5年の台風第7号に伴う出水においてこの試行を実施したことにより、通常のダム運用と比較して約1,064千m³の水を発電に有効活用し、約137MWhの増電^{※2}ができました。これは、約529戸が1ヵ月に消費する電力量^{※3}に相当します。

両者は、限りある水資源を有効活用することでゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※1 洪水調節を行った後や洪水に至らない出水時に、最新の気象予測技術を活用し、洪水対応及び利水に支障のない範囲で一時的に流水を貯留し、隣接する関西電力の高山発電所で有効に発電しながら放流する取組。

※2 関西電力株式会社にて算出。

※3 一般家庭の1ヵ月の消費電力量を260kWhとして試算したもの。

1. 資料：高山ダムにおける水位運用高度化（既存ダムを活用した増電の試行）取組概要

2. 配布先：近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、学研都市記者クラブ

3. 問合せ先

独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社 淀川本部

施設管理課長 ^に丹羽 ^わ 電話：06-6763-5182（代表）

高山ダムにおける水位運用高度化 (既存ダムを活用した増電の試行) 取組概要

独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社 淀川本部

関西電力株式会社

高山ダムにおける水位運用高度化 実績

- 令和5年台風第7号に伴う出水において、令和5年8月17日から9月7日にかけて、洪水調節容量に流水を一時的に貯留することで水位運用高度化操作を行いました。
- 通常の操作と比較して約1,064千m³の水を発電に有効利用し、約137MWhの増電^{※1}となりました。これは、一般家庭約529戸が1カ月に消費する電力量^{※2}に相当します。

※1 関西電力株式会社にて算出。 ※2 一般家庭の1カ月の消費電力量を260kWhとして試算したものの。



